

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県地方独立行政法人たつの市民病院機構 たつの市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	19	-	ドI	救
人口(人)	敷地面積(m ²)	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	8,263	第2種該当	-	10:1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

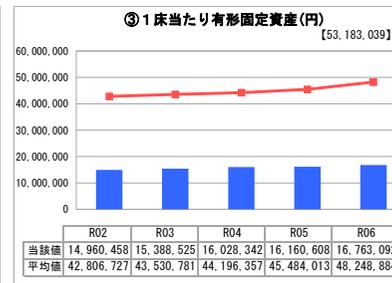
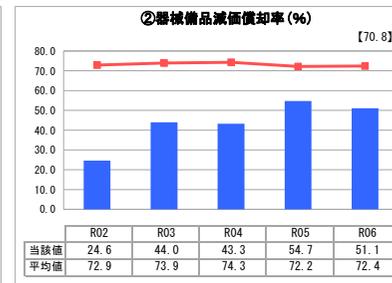
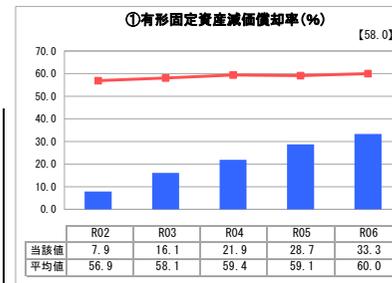
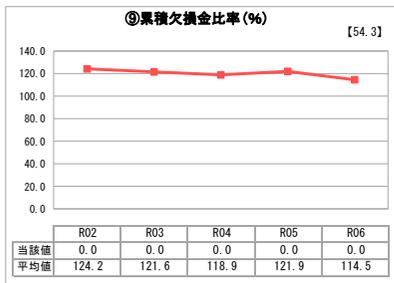
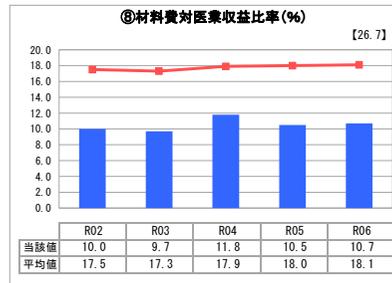
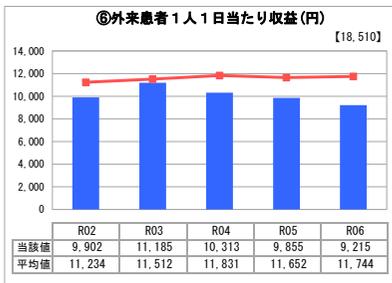
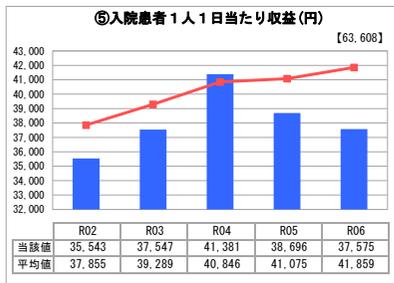
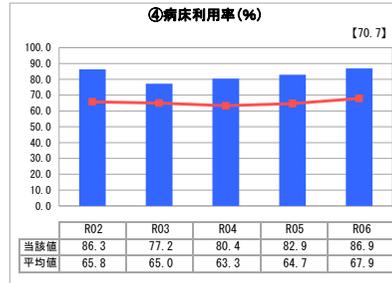
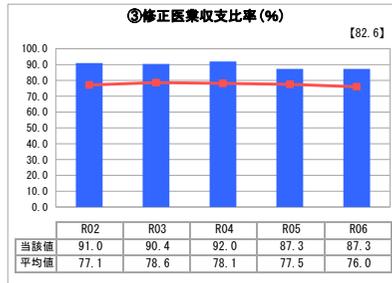
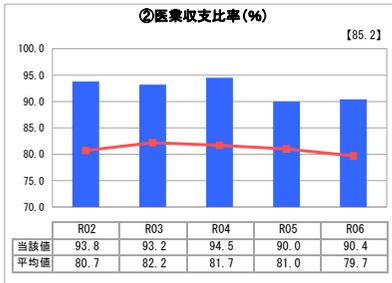
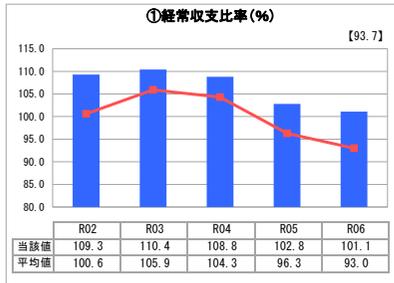
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
120	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	120
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
118	-	118

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- [] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の役割・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度 令和2	年度 -

I 地域において担っている役割

たつの市民病院においては、救急医療、へき地医療や予防治療等の地域医療構想を踏まえた急性期、回復期、地域のニーズに応じた医療の提供に努めるとともに、新興感染症への対応、地域包括ケアシステムの実現に向けて、公的医療機関としての役割を担います。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年4月から地方独立行政法人へ移行し、回復期リハビリテーション病棟及び地域包括ケア病棟の病床利用率向上に取り組みました。また、新興感染症にも積極的に取り組み、罹患患者・罹患後症状のある患者の受け入れを積極的に行ったことにより、病床利用率、医業収支比率、修正医業収支比率、経常収支比率ともに類似病院平均値を上回りました。前年度から比較しますと、各比率、収益ともほぼ横ばいとなりましたが、地方独立行政法人移行前から比較しますと、経営状況は大幅に改善しています。

2. 老朽化の状況について

令和2年4月から地方独立行政法人化移行に伴い、有形固定資産償却対象資産(器具備品)のうち帳簿価額(原価)に定める、減価償却累計額が少ないため、減価償却率は類似病院平均値を下回りました。建替え時に導入したその他医療機器、器具備品についても、耐用年数など考慮したうえで、購入費の平準化を図りながら更新を進めていきます。また、建て替えから10年以上が経過したため、修繕・改修工事等も計画的に進めていきます。

全体総括

全国的に、公立病院が赤字化の中、病院理念「こころある医療」を職員一丸となって取り組んできた結果、入院患者数は、前年度より多く患者数を確保することができた。また、新興感染症等に罹患した患者・罹患後の受入も積極的にを行った結果、病床利用率、医業収支比率、経常収支比率ともに類似病院平均値を上回りました。今後も、市民が安心して暮らせるように、地域医療構想を踏まえ、地域のニーズに応じた医療の提供に努めるとともに、市民病院が担うべき役割・機能の最適化と連携の強化を果たし、今後も健全経営につなげます。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。